



根来 滯子でございます。

「みなせ」には私の心の感じるままにエッセイを寄稿しております。

「エッセイとは書いてある内容の7割は事実でなければならない」と誰かがいったそうですが、創作ではないのですから（身のよきなしごとを書いているのですから）その通りでしょう。

しかし私の場合、フィクションとノンフィクションの境があいまいで、人間性で言えば虚言癖があるということです。

真実を吐露したとされていていつものまにか架空の『根も葉もない』作り話へと飛んだりします。

しかしそれとは別に、土壌はしっかりと肥料をやって耕しておこうと思っています。

ぜひお読みくださいね。